

滋賀県の令和8年 スギ花粉飛散予測

滋賀医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科
久保良仁, 松本晃治, 戸嶋一郎, 西口達治, 川北憲人, 竹中幸則

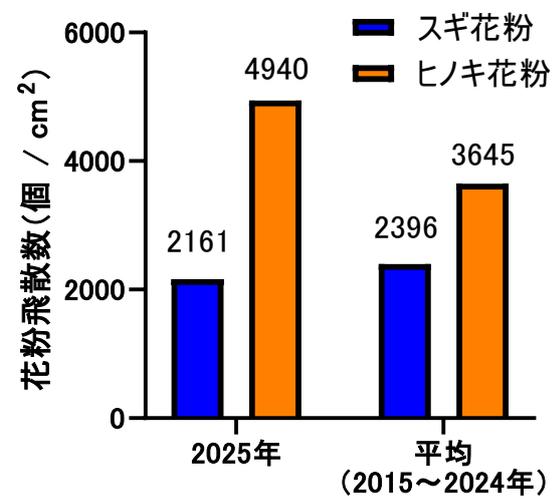
2026年のスギ花粉飛散は
例年よりやや多くなるでしょう

2025年の振り返り

昨年われわれが報告した令和7年(2025年)スギ花粉飛散予測では、2024年7月中旬の平均気温から予測した2025年のスギ花粉飛散量は 3120 ± 1256 個/cm²(平均値±S.D.)と例年の平均の2215個/cm²より多かった。2024年7月の平均気温は28.2℃とかなり高く、日照時間は176.9時間と長くスギの生育に適しており、降水量は216.5mmで、過去10年の平均(211.8mm)とほぼ同様であった。2025年はスギ花粉の表年にあたり、2024年10月のスギ雄花芽の着生状況も考慮して、「2025年のスギ花粉飛散は、例年より多くなるでしょう」と予測した。2025年春季のスギ花粉飛散総数の実測値は2161個/cm²と例年と同等であり、予測より少ない飛散であった。

2025年スギ・ヒノキ花粉飛散結果と平均飛散数

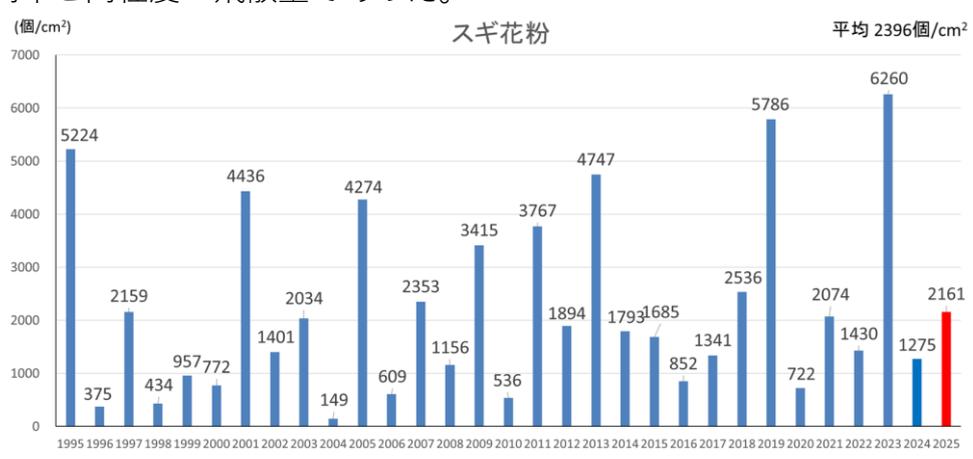
大津市における2025年のスギ・ヒノキ花粉飛散結果と平均飛散数(2015~2024年)を示す。2025年のスギ・ヒノキ花粉飛散数はスギは例年と同程度、ヒノキは例年よりやや多い飛散であった。



年次別スギ・ヒノキ飛散結果と平均飛散数

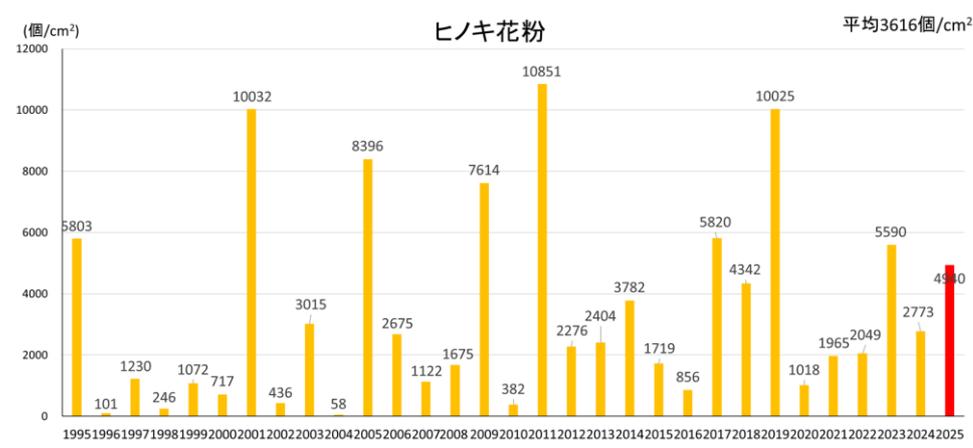
スギ花粉

大津市(1995年~2025年)の年次別スギ花粉飛散総数(ダラム型標準花粉捕集器にて採取、単位は個/cm²)を示す。スギ花粉飛散総数は隔年で増減を繰り返す傾向にあり、数年に一回大量飛散の年が見られる。2019年と2023年は大量飛散であった。この原因として、スギ花粉飛散の表年であることに加えて、2018年と2022年7月の平均気温が高く、日照時間が長いにもかかわらず降水量が多い気象条件が考えられた。2024年7月は平均気温が高く、日照時間が長かったが、降水量は平均程度で、2025年はスギ花粉の表年で例年と同程度の飛散量であった。



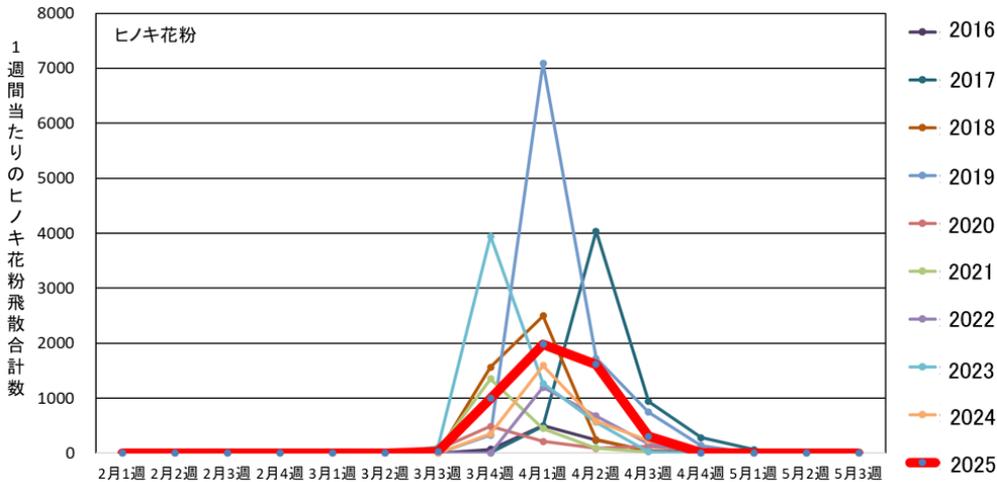
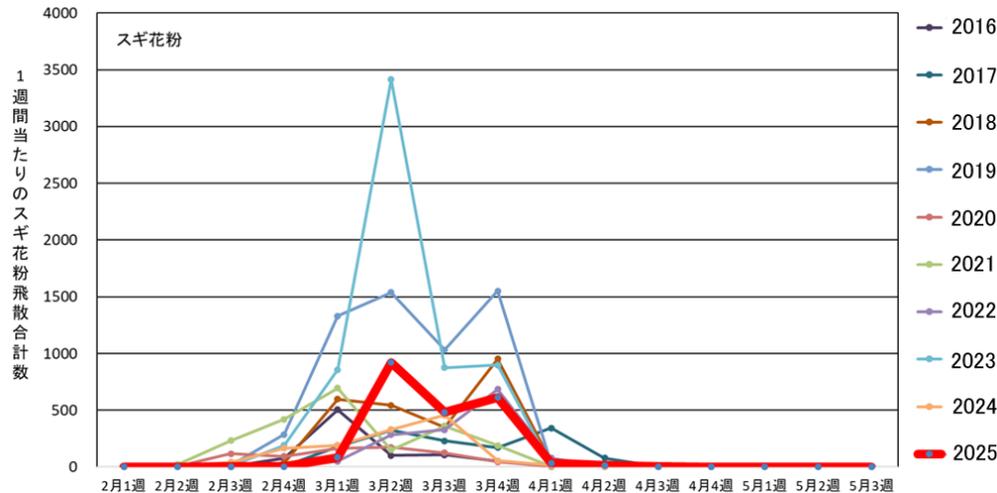
ヒノキ花粉

大津市(1995年~2024年)の年次別ヒノキ花粉飛散総数を示す。ヒノキ花粉もスギ花粉飛散同様隔年で増減を繰り返す傾向にある。2025年は例年よりもやや多い飛散量であった。



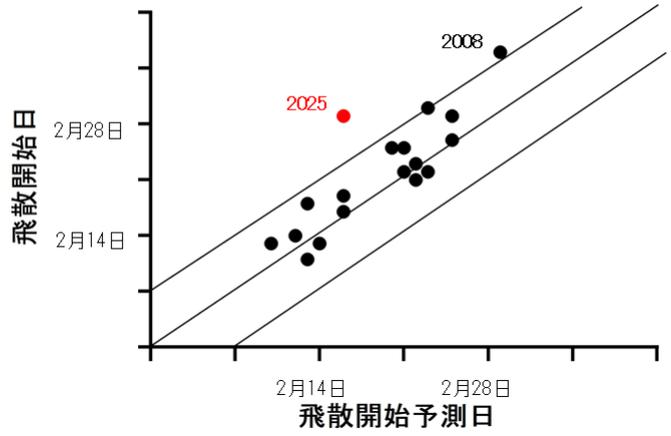
スギ・ヒノキ飛散様式 (2016～2025年)

大津市における1週間毎の花粉飛散数を示す。スギ花粉は例年3月中旬に最大飛散日が見られる。2025年は3月10日が最大飛散日であった(364個/cm²)。ヒノキ花粉は例年4月初旬に最大飛散日が見られ、2025年は4月6日が最大飛散日であった(503個/cm²)。



スギ花粉飛散開始日

2007年以降のスギ花粉飛散開始予測日と実際の飛散開始日



スギ花粉の飛散開始は、年明けからの日中最高気温の積算値が400を超える頃に多い。2007年以降では、2008年を除いて、最高気温の積算値が400を超えた日の7日以内に飛散開始した。

2025年で日中最高気温の積算値が400を超えたのは2月16日で、スギ花粉飛散開始は3月1日であった。ちょうど2月16日から寒の戻りがあり、その後1週間半ほど最高気温が10度を下回る日が続いたため飛散開始が遅れたものと考えられる。

年次別7月の気象(データは気象庁ホームページより引用)

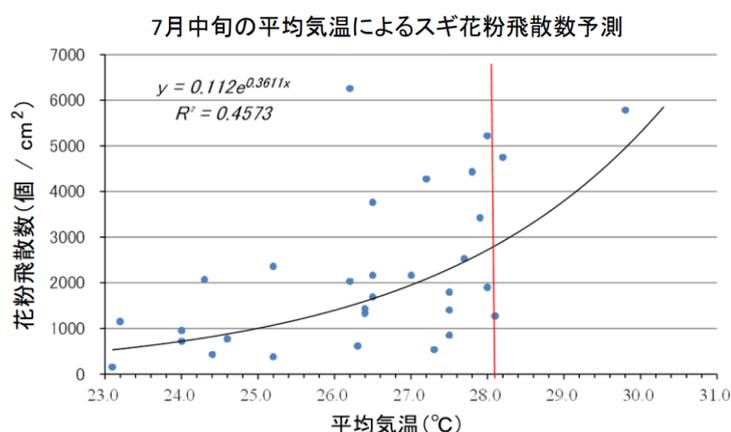
スギ花粉の生育には前年7月の気温、降水量、日照時間が関係している。2025年7月の気象条件は、平均気温・日照時間は平均値を上回り、降水量は例年よりも少なく2023年とよく似た気象条件であった。

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
平均気温(°C) (平均値26.9°C)	26.1	27.1	27.1	27	27.5	26.5	26.1	26.6	27.4	28.5	25.2	24.7	26.8	27.1	28.1	28.2	29.1
降水量(mm) (平均値234mm)	266	291	227	228	104	116	286	109	159	309	245	390	218	336	78	217	88
日照時間(時間) (例年値160時間)	101	168	166	178	177	171	138	186	144	252	90	66	160	168	220	177	275

背景が橙色の数字は、気温・日照時間では平均値を上回った年、降水量では平均値を下回った年を示す。
気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/>)

2026年のスギ花粉飛散予測

過去のスギ花粉飛散総数と7月中旬の平均気温から2026年のスギ花粉飛散数を予測した。大津市における前年7月中旬の平均気温(28.1°C)は過去10年の平均(26.7°C)より高く、予測式からは 2857 ± 1432 個/cm²と平年の2396個/cm²よりやや多いと考えられる(右図)。7月の平均気温は29.1°Cとかなり高く、日照時間は275時間と長くスギの生育に適した気温・日照条件であった。降水量は88mmで、過去10年の平均(234mm)と比べ非常に少なかった。2026年はスギ花粉の裏年にあたり、2025年10月下旬のスギ雄花芽の着生状況を考慮して、「2026年のスギ花粉飛散は、例年よりやや多くなるでしょう」と予測した。



スギ・ヒノキ雄花芽着生状況(2025年10月下旬)

スギ



A. 2025年10月下旬のスギの雄花芽の着生状況は、例年よりやや良好であった。

ヒノキ



B. 2025年10月下旬のヒノキの雄花芽の着生状況は、例年並みであった。